

土壌調査特記仕様書																																																							
Ⅰ. 調査内容																																																							
調査名称	東北大学（青葉山 1）環境保全センター実験廃液処理棟土壌調査業務																																																						
調査場所	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6（東北大学青葉山 1 団地構内）																																																						
調査期限	令和 3 年 8 月 3 0 日（金曜日）																																																						
調査目的	水質汚濁防止法第 2 条第 2 項に規定する特定施設の使用の廃止に伴う土壌汚染対策法第 3 条第 1 項にもとづく調査。																																																						
調査内容	<div>1. 調査内容</div> <div>（1）第 1 種特定有害物質（12 物質）－土壌ガス調査</div> <div>（2）第 2 種特定有害物質（9 物質）－土壌溶出量及び含有量調査</div> <div>（3）第 3 種特定有害物質（4 物質）※ポリ塩化ビフェニル除く－土壌溶出量調査</div> <div>2. 調査方法</div> <div>（1）土壌ガス調査</div> <div>各試料採取地点について、地表面から深さ 0.8～1.0m まで削孔して、孔内のガスを採取する。</div> <div>（2）土壌試料採取</div> <div>現況地表面から各試料採取地点について、GL-0.0m～-0.05m、GL-0.05m～-0.5m の深度にあたる土壌を採取する。</div> <div>また、配管等に対する各試料採取地点については、底部から 0.5m の深度にあたる土壌を採取する。</div> <div>（3）試料調整</div> <div>採取した土壌は、風乾後、2mm 目のふるいを通過させ、各試料について GL-0.0m～-0.05m、GL-0.05m～-0.5m の土壌を均等混合する。土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地の試料は、単位区画（10m 格子）の試料を分析する。また、土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地の試料は、30m 格子内の単位区画内の 2～3 地点の試料を均等混合し、その混合試料を分析に供する。</div> <div>配管路に対する試料は、管底または貯留槽等の底盤から 50cm の土壌試料を分析に供する。</div> <div>3. 調査数量</div> <table><tr><th>汚染のおそれが生じた場所の位置</th><th>調査対象</th><th>土壌汚染のおそれの区分</th><th>掘削深度</th><th>分析数量</th><th>図示凡例</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">現況地表面</td><td rowspan="2">第一種特定有害物質（土壌ガス調査）</td><td>全部対象区画</td><td>GL-1.0m</td><td>8</td><td rowspan="2">10</td><td>◎</td><td>A-1, 2, 4, 5, 7, 8、Z-6, 9</td></tr><tr><td>一部対象区画</td><td>GL-1.0m</td><td>2</td><td>◎</td><td>A-6、B-4</td></tr><tr><td rowspan="2">第二種、第三種特定有害物質（溶出量、含有量）</td><td>全部対象区画</td><td>GL-0.5m</td><td>8</td><td rowspan="2">10</td><td>◎</td><td>A-1, 2, 4, 5, 7, 8、Z-6, 9</td></tr><tr><td>一部対象区画</td><td>GL-0.5m</td><td>2</td><td>◎</td><td>A-3, 6, 9、B-1, 4</td></tr><tr><td rowspan="4">配管下等</td><td rowspan="4">第二種、第三種特定有害物質（溶出量、含有量）</td><td>全部対象区画</td><td>GL-2.8m</td><td>2</td><td rowspan="4">5</td><td>●</td><td>A-1 GL-0.8m（管底）、GL-2.3m（ポンプ槽底盤）</td></tr><tr><td>全部対象区画</td><td>GL-1.3m</td><td>1</td><td>●</td><td>A-2 GL-0.8m（管底）、</td></tr><tr><td>全部対象区画</td><td>GL-2.9m</td><td>2</td><td>●</td><td>A-7、Z-9</td></tr><tr><td></td><td></td><td>●</td><td>GL-2.4m（ビット底盤）</td></tr></table> <div>4. 準拠法令等</div> <div>本調査は、土壌汚染対策法（平成 14 年法律第 53 号）及びこれに基づく関係法令の規定により行うこと。</div>	汚染のおそれが生じた場所の位置	調査対象	土壌汚染のおそれの区分	掘削深度	分析数量	図示凡例	備考	現況地表面	第一種特定有害物質（土壌ガス調査）	全部対象区画	GL-1.0m	8	10	◎	A-1, 2, 4, 5, 7, 8、Z-6, 9	一部対象区画	GL-1.0m	2	◎	A-6、B-4	第二種、第三種特定有害物質（溶出量、含有量）	全部対象区画	GL-0.5m	8	10	◎	A-1, 2, 4, 5, 7, 8、Z-6, 9	一部対象区画	GL-0.5m	2	◎	A-3, 6, 9、B-1, 4	配管下等	第二種、第三種特定有害物質（溶出量、含有量）	全部対象区画	GL-2.8m	2	5	●	A-1 GL-0.8m（管底）、GL-2.3m（ポンプ槽底盤）	全部対象区画	GL-1.3m	1	●	A-2 GL-0.8m（管底）、	全部対象区画	GL-2.9m	2	●	A-7、Z-9			●	GL-2.4m（ビット底盤）
汚染のおそれが生じた場所の位置	調査対象	土壌汚染のおそれの区分	掘削深度	分析数量	図示凡例	備考																																																	
現況地表面	第一種特定有害物質（土壌ガス調査）	全部対象区画	GL-1.0m	8	10	◎	A-1, 2, 4, 5, 7, 8、Z-6, 9																																																
		一部対象区画	GL-1.0m	2		◎	A-6、B-4																																																
	第二種、第三種特定有害物質（溶出量、含有量）	全部対象区画	GL-0.5m	8	10	◎	A-1, 2, 4, 5, 7, 8、Z-6, 9																																																
		一部対象区画	GL-0.5m	2		◎	A-3, 6, 9、B-1, 4																																																
配管下等	第二種、第三種特定有害物質（溶出量、含有量）	全部対象区画	GL-2.8m	2	5	●	A-1 GL-0.8m（管底）、GL-2.3m（ポンプ槽底盤）																																																
		全部対象区画	GL-1.3m	1		●	A-2 GL-0.8m（管底）、																																																
		全部対象区画	GL-2.9m	2		●	A-7、Z-9																																																
				●		GL-2.4m（ビット底盤）																																																	
Ⅱ. 一般特記事項																																																							
総 則	本調査の受注者は、測量調査等請負契約要項（平成 15 年 7 月 22 日付け 15 文科施第 164 号 文教施設部長通知）、本特記仕様書を含む図面 1 枚、及び工事写真撮影要領（文部科学省）に基づき調査する。																																																						
そ の 他	<div>（1）請負代金の支払い</div> <div>請負代金は、国立大学法人東北大学財務部から 1 回に支払うものとする。</div> <div>（2）測量調査等請負契約要項の運用について</div> <div>要項第 4 条の規定により、業務工程表は提出しない。</div> <div>（3）その他</div> <div>・調査孔は、監督職員の指示により処理する。</div> <table><tr><th>現 況</th><th>孔数</th><th>現況復旧</th><th>埋戻しまで</th></tr><tr><td>鉄筋コンクリート土間もしくはスラブ 厚 180mm 程度</td><td>5 か所 (A-5, 6、Z-6, 9)</td><td>2 か所 (A-5、Z-6)</td><td>3 か所 (左記以外の全て)</td></tr><tr><td>アスファルト舗装 表層 5cm 程度</td><td>11 か所 (上記を除くすべて)</td><td>7 か所 (A-1, 2, 3, 6, 9、B-1, 4)</td><td>4 か所 (左記以外の全て)</td></tr></table> <div>・調査完了に際し、後片付け及び清掃を行う。</div> <div>・調査用水は、構内より無償支給とする。</div> <div>・本学が届出の際に行う行政との打ち合わせに同席・説明を求める場合がある。</div>	現 況	孔数	現況復旧	埋戻しまで	鉄筋コンクリート土間もしくはスラブ 厚 180mm 程度	5 か所 (A-5, 6、Z-6, 9)	2 か所 (A-5、Z-6)	3 か所 (左記以外の全て)	アスファルト舗装 表層 5cm 程度	11 か所 (上記を除くすべて)	7 か所 (A-1, 2, 3, 6, 9、B-1, 4)	4 か所 (左記以外の全て)																																										
現 況	孔数	現況復旧	埋戻しまで																																																				
鉄筋コンクリート土間もしくはスラブ 厚 180mm 程度	5 か所 (A-5, 6、Z-6, 9)	2 か所 (A-5、Z-6)	3 か所 (左記以外の全て)																																																				
アスファルト舗装 表層 5cm 程度	11 か所 (上記を除くすべて)	7 か所 (A-1, 2, 3, 6, 9、B-1, 4)	4 か所 (左記以外の全て)																																																				

